

彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, November, 2008

課長 関 勉 T. Seki

幹事 松本敏一 T. Matsumoto 幹事 佐藤裕久 H. Sato

11月の状況 (佐藤)

☆ 29P/Schwassmann-Wachmann (写真 a)

11月4日、OAA 彗星課メーリングリスト (oaa-comet ML) に横浜市の吉田誠一氏から「…ばかでかい！ まん丸い惑星状星雲のような姿が、夜空にぼっかりと浮かんでいます。まるで、去年のホームズ彗星そっくりです。集光は弱いですが、とても明るくて、はっきりと見えています。視直径は4分角を超えました。私の人生で、最も大きな29Pの姿です。…」との報告があった。

続いて7日、千葉県船橋市の張替 憲氏から「…コマが大きく広がっていますが意外に明るく低倍率のほうがより見やすくなります。…」と報告があった。

9日には、芸西天文台の関課長から「29P はいま増光しているのでしょうか。張替さんのメールでは10等級で観測されていますが、芸西では、眼視ではまだ見ていません。しかし11月4.5日 UT に70cmの画像では、15等級の恒星状のしっかりした核があり、コマはかなりポーッと拡散しています。全光度はかなり明るいと思います。…」とのコメントがあった。

同日、熊本県阿蘇郡南小国町の宇都宮章吾氏からは「コマは、背景の星が透けてみえるくらい淡く、楕円状にみえました。…」と4日の報告の他、29P と C/2006 OF₂ (Broughton)の画像紹介があった。

更に24日にも、吉田氏から「驚くべきことに、9月の大バーストの残光がまだ見えています。拡散しきった淡い、つかみ所のない姿です。月が昇った後の観測ですが、高度が高くなり、透明度も良くなったので、月が昇る前よりも、もっと大きく広がって見えました。拡散しているので、空の条件の影響がシビアに効くようです。拡大すると、中心部の存在がよりはっきりしますが、淡いコマの広がりが見えなくなり、全光度の目測は12.5等くらいになってしまいます。なお、拡大しても、新たなバーストは起きていないようでした。23日は、透明度が良いためか、前日よりもはっきりと、より大きく見えました。」との詳しいコメントがあった。

また28日には、張替氏から「コマが淡く朦朧と広がっています。しばらく注視

して確認できました。」と 23 日の観測報告があった。かなり広がった同彗星の光度は、空の条件や望遠鏡の倍率等によってバラツキが大きいようである。

○ 眼視観測報告

C/2006 OF₂ (Broughton) (写真 b)

2008	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Nov.	1. 58	11. 0	2. 4'	7	-	-	-	-	75×40cmL	吉田誠一	
	1. 54	10. 9	2. 0	7	-	-	3/5	2/5	78×32cmL	張替 憲	
	4. 80	10. 8	2	6	-	-	4/5	3/5	25×15cmB	宇都宮章吾	
	5. 69	10. 7	1. 5	7	1. 5'	-	4/5	2/5	78×32cmL	張替 憲	
	20. 54	10. 9	0. 6	6	-	-	-	-	79×30cmL	永島和郎	
	22. 53	10. 8	1. 9	7	-	-	-	-	75×40cmL	吉田誠一	
	23. 47	10. 8	2. 1	7	-	-	-	-	75×40cmL	吉田誠一	
	23. 74	10. 7	1. 7	7	-	-	4/5	2/5	49×32cmL	張替 憲	
	26. 54	11. 1	0. 8	6	-	-	-	-	57×25cmH	永島和郎	若干光害
	28. 74	10. 6	1. 6	7	-	-	4/5	2/5	49×32cmL	張替 憲	

C/2006 W3 (Christensen)

2008	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
Nov.	1. 45	10. 4	3. 4'	7	-	-	-	-	75×40cmL	吉田誠一
	5. 69	11. 0	2. 0	6	-	-	3/5	2/5	78×32cmL	張替 憲
	20. 48	11. 2	0. 5	5	-	-	-	-	79×30cmL	永島和郎
	22. 52	10. 3	3. 3	7	-	-	-	-	75×40cmL	吉田誠一
	23. 41	10. 6	4. 9	7	-	-	-	-	36×40cmL	吉田誠一
	23. 60	10. 9	1. 8	6	-	-	4/5	3/5	49×32cmL	張替 憲

C/2007 W1 (Boattini)

2008	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
Nov.	1. 50	13. 8	1. 0'	2	-	-	-	-	144×40cmL	吉田誠一

C/2008 A1 (McNaught)

2008	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
Nov.	1. 38	7. 9	7'	7	-	-	-	-	36×40cmL	吉田誠一
	1. 38	8. 5	3	6	-	-	3/5	2/5	49×32cmL	張替 憲
	22. 38	8. 7	7. 5	6/	-	-	-	-	36×40cmL	吉田誠一

6P/d'Arrest

2008	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
Nov.	1. 43	9. 9	1. 8'	3	-	-	-	-	75×40cmL	吉田誠一
	22. 45	10. 3	3. 2	2	-	-	-	-	75×40cmL	吉田誠一
	23. 39	10. 6	2. 9	0/	-	-	-	-	75×40cmL	吉田誠一

19P/Borrelly

2008	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
Nov.	1. 78	12. 0	2. 1'	4/	-	-	-	-	75×40cmL	吉田誠一
	22. 79	12. 5	1. 6	4/	-	-	-	-	144×40cmL	吉田誠一

Year	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
2008	Nov. 23.82	12.9	1.1'	4	-	-	-	-	144×40cmL	吉田誠一

29P/Schwassmann-Wachmann

Year	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
2008	Nov. 1.77	10.7	4.2'	1/	-	-	-	-	75×40cmL	吉田誠一
	4.79	10.5	5	2	-	-	4/5	3/5	25×15cmB	宇都宮章吾
	5.71	10.2	6	3	-	-	4/5	2/5	49×32cmL	張替 憲
	22.80	11.5	3.4	0	-	-	-	-	75×40cmL	吉田誠一
	23.82	11.0	4.0	1	-	-	-	-	75×40cmL	吉田誠一
	23.75	10.6	4.0	2	-	-	4/5	2/5	49×32cmL	張替 憲

144P/Kushida

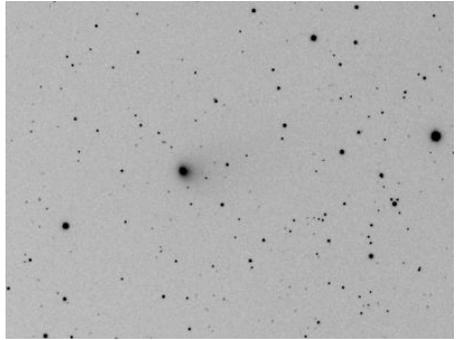
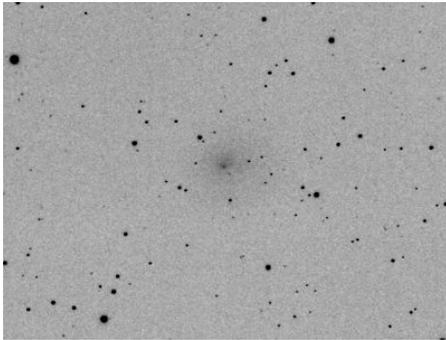
Year	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
2008	Nov. 22.43	12.2	1.5'	5	-	-	-	-	144×40cmL	吉田誠一
	23.45	12.6	1.3	3	-	-	-	-	144×40cmL	吉田誠一
	23.62	12.0	2.8	4	-	-	4/5	3/5	78×32cmL	張替 憲

205P/Giacobini

Year	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
2008	Nov. 1.42	13.2	1.1'	3	-	-	-	-	144×40cmL	吉田誠一
	22.80	12.6	1.0	3	-	-	-	-	144×40cmL	吉田誠一
	23.82	13.5	0.5	3/	-	-	-	-	257×40cmL	吉田誠一

○11月中に発見・検出された彗星はなかった。

その他比較的明るい彗星は、C/2007 U1 (LINEAR)、C/2008 J1 (Boattini)、などであった。(先月のC/2007 U1 (LINERA)をC/2007 U1 (LINEAR)に訂正)



(写真 a) 29P/Schwassmann-Wachmann 2008, 11, 05 (写真 b) C/2006 OF₂ (Broughton) 2008, 11, 19
 1h 40.0m-50.0m (JST) exp. 60sx7 T0A130+CCD 3h 50.0m-4h 00.0m (JST) exp. 60sx7 T0A130+CCD
 三重県伊賀市上野 田中利彦氏 三重県伊賀市上野 田中利彦氏